



# トコトワ新聞

純正律 (純正調) 音楽の勧め



純正律とはあまり聞き慣れない言葉だと思いが、平均律の対極にあるものと言われると、何となく理解できるのではないのでしょうか。ドビッシーによって、広まった平均律が、その全盛期を迎えようとしていた明治時代に、西洋音楽を取り入れた日本は、平均律を当然のごとく受け入れました。ドビッシー以前は西洋でも、いろいろな調律があり、数々で有名なピタゴラスによるピタゴラス調律なども好まれて用いられていました。かの有名なモーツァルトは平均律を極端に嫌い、自分の曲を平均律で演奏するやつは殺してやるとまで言ったという話が伝わっています。モーツァルトはミントーン (中間調律) という調律を用いました。現在モーツァルト音楽療法というものがありますが、その音楽が平均律では、何をか言わんやであります。ちなみに、平均律とは、オクターブを平均的に狂わせたものなのです。従って平均律のドミソは濁った音になります。例えば純正律のミと比べてみると、100分の2の違いがでるそうです。100分の2など大したことのないように思われますが、人間の耳は精妙なものでその違いはきちんと聞き分けられます。最近、癒し

2000年8月号トコトワコスミックアカデミー大阪

の音楽と銘打って沢山のCDが発売されていますが、効果のほどはどうなのでしょう。純正律でつくられたCDは癒しを目的にしたものではないので、ごく一部の人が以外にはあまり知られていなくて残念なのですが、その効果は相当なものが期待できるようです。アーユルヴェーダには痛みに対する処方箋はないと聞いていますが、純正律による音楽は、痛みに対しても驚くべき効果があるようです。というのも、自然の倍音を基にした純正の調べは何よりも身体の細胞が喜ぶからです。モンゴルに伝わるホーメイという歌い方もこの自然の倍音を利用して身体全体に響くような歌い方です。その気になって探してみれば、世界中に素晴らしい音楽が満ちあふれています。特に癒しの音楽と銘打っていないものなかにすばらしいものがあります。世に音楽の評論家ほど当てにならないものはありません。自分の耳で確かめるのが一番良いと思います。純正調の音楽の扉は自分で開けてみて下さい。そこには、サラスヴァティーのすばらしい天國的な響きの音の世界があることでしょう。

徳田昭維



『アイシテイマス エンジンパワーアップ!』

二〇〇二年五月十四日「今つれて帰らないともうお家には帰れなくなると思っています。」との主治医の言葉に決心を固め母をつれ帰り二十四時間つきっきりの介護がスタートした。

驚いた事に母は咀嚼と云う生きてゆく為に大切な事が出来なくなっておりました。新生水をゆっくり一口づつ飲むのが精一杯、病院から頂いたエンシユアキッド (栄養補助ドリンク缶) も嫌がって飲んでくれません。そこでおばあちゃんの知恵シリーズの中の玄心を祈る思いで作りました。飲ませたところ嬉しい事に受け入れてくれ、それをきっかけにおみそ汁、ミキサー食と進み五日目には家族の為に食卓に用意してあったタワンを口に入れた事をきっかけに嘔吐事を思い出し十日程で玄心を卒業し普通食を食べられる様になりました。

そして、そして七月十二日より再びデイケアでリハビリをして頂ける迄に回復する事が出来、看護婦さんに (この回復ぶりの) 秘訣は? と逆に質問をされる程です。

この二ヶ月の間に沢山の出会いがありました。訪問入浴でお世話下さったお三人、ヘルパーさ

